

しばたの郷土館 企画展

「小室達生誕120年展」



2019 3.23.土 ~ 2019 6.23.日





〒989-1603 柴田郡柴田町船岡西一丁目6-26
 電話 0224-55-0707 FAX 0224-58-1911

開催にあたって

小室達が誕生して120年になります。

昨年は、小室が制作活動に打ち込み、生活をしていた東京で「小室達展」が開催されました。永らく待望されながら、なかなか実現できませんでしたが、その東京での「小室達展」の開催が縁で、各方面から情報や作品が当館に寄せられました。

今まで、知られていなかった作品も多く確認されました。中でも今回は木彫作品を主に展示します。小室は塑像家なので、木彫家のように直接木材に線を引き彫刻刀で彫ることはしません。まず、粘土で型をつくりそれを石膏像にして、そこから木に星取りをして彫りこんでいきます。原型となる石膏像には赤い点が見られます。これが星取りの跡です。本来は石膏像をすっきり写すことが基本ですが、やはり、バランスや雰囲気などを考えて調整をしています。

また、「素材による作品の質感の違い」「伊達政宗騎馬像関連資料」「東京での展示作品など」3つのテーマで展示します。

木彫ブロンズ・陶彫作品とその原型である石膏像とを見比べてください。細やかな調整の跡が見つかると思います。

また、クラウドファンディングにより、小室の石膏作品をブロンズ化しましたので、質感を見比べてください。



小室 達 略年表

- 1899 8月10日柴田郡槻木村入間田(現柴田町)に、小室源吾・かよの三男として生まれる
(明治32)
- 1913 白石中学校入学
(大正2)
- 1919 東京美術学校(現東京藝術大学等)彫刻科入学
(大正8)
- 1922 第4回帝展に「想」初入選、美術学校卒業後研究科に進む
(大正11)
- 1924 第5回帝展「曙光」入選、(一條旅館、船岡駅)帝都復興記念合同彫塑展「淵」妙技賞四席、「清穆」「自画像」
(大正13)
- 1925 近藤静子(千葉県生まれ)と結婚。第6回帝展に「構想」特選(槻木小、県美術館、槻木中)帝都復興記念合同彫塑展「すがた」入選、東台彫塑会会員になる
(大正14)
- 1926 第7回帝展に「洗心」無鑑査となる。長女リ子生まれる。「北條伊平・千代夫妻像」
(大正15)
- 1929 第10回帝展に「舞」出品。「亙理進先生之像」「疋田運猷先生之像」
(昭和4)
- 1930 第11回帝展に「念」出品。「一力健治郎像」「高山善右衛門像」。第2回聖徳太子奉賛美術展「相愛ノヒト群」出品
(昭和5)
- 1931 第1回塊人社展「まどろみ」「春日夢」出品。次女むつみ生まれる
(昭和6)

展示1

「石膏像、木彫、ブロンズ像、陶彫の質感の違い」

—粘土で型をつくり、それを石膏像にする—



「木彫 —木に星取し彫りこむ—」

「ブロンズ —鋳物流しこむ—」



「夏」



「陶彫 —土を焼いて作る感性豊かな面白さ—」

1934 (昭和7) 「光明皇后施薬之像」 社展「双珠」出品。「先明皇后施薬之像」(石巻日赤病院)「藤沢幾之輔像」

1935 (昭和10) 「伊達政宗公騎馬像」完成。長男稷嗣生まれる。「鏡」

1936 (昭和11) 「伊達政宗公騎馬像小品」、文展招待展「踞める女」出品

1937 (昭和12) 第1回文展「銀河」無鑑査出品

1938 (昭和13) 第2回文展「銀河」無鑑査出品。主線美術展「夏」出品

1939 (昭和14) 第3回文展「髪」無鑑査出品。「女武者像」(白石市田村神社甲冑堂)第3回主線美術展「習作」出品。「松窓乙二翁像」

1941 (昭和16) 第4回文展「座像」無鑑査出品。「薬師如来坐像」(白石市一條旅館薬師堂)。「保食神立像」

1942 (昭和17) 「弥勒菩薩坐像」「裸婦像」

1943 (昭和18) 第6回文展「想」出品。「小室源吾・かよ夫妻像」。勤皇烈士顕彰彫刻展「林子平像」出品

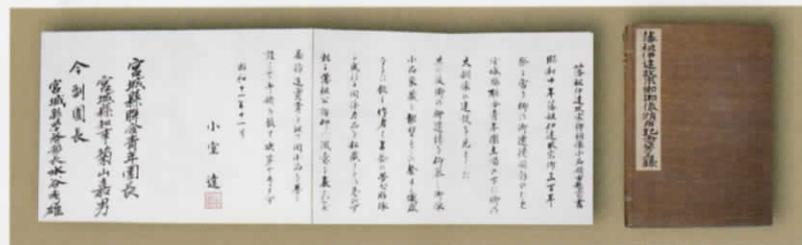
1944 (昭和19) 「伊達政宗公騎馬像」金属回収の先駆として撤去される

1945 (昭和20) 長女リリ子甲府師団司令部にて戦災死。「弥勒菩薩半跏思惟立像」

1946 (昭和21) 第2回日展「花を持つ少女」出品。「聖観音菩薩立像」

1948 (昭和23) 「父子像」。「釈迦誕生仏像」

展示2 「伊達政宗騎馬像に関する作品資料」



伊達政宗騎馬像小品頒布芳名簿】



『伊達政宗騎馬像小品』

展示3 「東京で展示した作品など」



『伊達政宗騎馬像(3D作品)』

『わらべ』

『ナイル杖頭』

- 1949 第5回日展「蝉声閑居」委嘱出品。白石高等学校校章制作 (昭和24)
- 1950 第6回日展「遥かなる愁」委嘱出品 (昭和25)
- 1951 第7回日展「はるか」委嘱出品(東船小) (昭和26)
- 1952 「白拍子」。「一條一平壽像」。「野田真一翁像」。第2回陶彫展「首」「坐像」 (昭和27)
- 1953 6月18日死去53歳。東京都杉並区の永昌寺に眠る (昭和28)
- 1964 仙台城址に「伊達政宗公騎馬像」復元される (昭和39)
- 1987 NHK大河ドラマ「独眼流政宗」放映に伴い柴田町公民館原型を調査し、仙台駅にFRP製「伊達政宗公騎馬像」設置される (昭和62)
- 1988 仙台駅のFRP製「伊達政宗公騎馬像」が小室達の生家に近い農村環境改善センターに設置される (昭和63)
- 1999 小室達生誕百年記念展を開催。北海道北見において藤井哲也・渡辺和郎によって発見された小惑星を小室達生誕百年記念して komurotoru と命名された (平成11)
- 2017 伊達政宗公生誕450年展により、伊達政宗公騎馬像が再度注目を集めた (平成29)
- 2018 東京で初の「小室達展」にて再評価された (平成30)

「伊達政宗騎馬像」

達

伊達政宗 騎馬像の来歴

- 昭和 9年 ・伊達政宗騎馬像石膏原型を、東京にて小室達制作
- 昭和10年 ・伊達政宗騎馬像を青葉城に建立
- 昭和12年 ・等身大の伊達政宗石膏像を伯楽渡辺豊三氏の斡旋により岩沼市竹駒神社馬事博物館に寄贈
- 昭和19年1月 ・伊達政宗騎馬像、金属供出により出陣
(戦後塩竈にて発見→仙台市博物館)
- 昭和28年6月 ・小室達 逝去53歳
- 昭和28年 ・柳原義達制作の平服姿の政宗立像建立
- 昭和29年 ・小室家から槻木町（現柴田町）へ伊達政宗騎馬像石膏原型寄贈
- 昭和39年 ・平服姿の政宗像岩出山へ寄贈
・柴田町保管の石膏原型により伊達政宗騎馬像を青葉城に再建立
- 昭和45年 ・柴田町公民館開館時に伊達政宗騎馬像石膏原型を設置
- 昭和62年 ・NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」放映により柴田町公民館原型をもとに、仙台駅2階にFRP製の政宗騎馬像設置
- 昭和63年 ・放送終了、柴田町に寄贈され、小室の生家に近い農村環境改善センターに仙台駅のFRP製の政宗騎馬像設置
- 平成 4年 ・地震等により、原型が破損したりしているため、柴田町公民館の政宗騎馬像原型を解体保存

